

2 伝法まちたんけん



「南の少し遠くに高いビルが見えます。弁天町のビルです。」

「南西には、京セラドーム球場やあべのハルカスが見えます。」

たけるさんたちは、伝法のまちをたんけんすることにしました。

1 屋上からのながめ

たけるさんたちは、屋上から伝法のまちのようすをかんさつしました。

ゆりえ 「北には淀川があります。大きな川です。今、鉄橋の工事をしています。」

りょう 「北と北西には、山が見えます。一番高い山は、六甲山です。」

なな 「東に、家がたくさん見えます。マンションの向こうは住吉瀬標神社です。」

みさお 「東のもっと遠くには、大阪城、さらに遠くには生駒山があります。」

かおる 「西は、阪神電車伝法駅です。神戸方面や奈良方面へ電車が走っています。」

ももか 「西のまちの向こうに、大阪わんという海があります。遠くに淡路島があります。」

しゅう 「南の少し遠くに高いビルが見えます。弁天町のビルです。」

ゆうき 「南西には、京セラドーム球場やあべのハルカスが見えます。」



↑伝法の地図（国土地理院地図に一部加筆）
①小学校を赤でぬろう。
②自分の家にシールをはろう。
③公園をみどり色でかこもう。
④地図記号の場所をしゅるいごとに色えんぴつでなぞったり、ぬったりしよう。

2 地図で、伝法のまちのようすをしらべよう

たけるさんたちは、伝法の地図を見て、小学校を赤でぬり、自分の家にシールをはりました。そして、地図を見ながら、まちのようすについて話し合いました。

ゆりえ 「伝法1丁目・2丁目には、千鳥橋団地や千鳥橋住宅があります。伝法6丁目には、伝法団地があります。」

みさお 「伝法のまん中あたりに、小学校と幼稚園と伝法駅があります。伝法3丁目と4丁目です。とても広い道路の国道43号線が南北に通っています。」

りょう 「伝法2丁目から5丁目には、1けん家や、長屋のおうちが、多くあります。それに、せまい道もたくさんあります。『ろじ』と言います。」

なみ先生 「伝法のまちは、古くからさかえ、戦争で焼けなかつたので、ろじがたくさん残っています。伝法5丁目は、とくに古く、役所や郵便局・銀行もあったそうです。伝法小学校も、100年前に5丁目から今の場所にひっこしました。」

ゆうき 「古いまちだから、お寺の地図記号の『卍』が多いのかな。神社の記号の『卍』もあります。」

なな 「校区の北がわには、淀川があります。南がわには、もとは正連寺川という川がありました。」

たける 「正連寺川は今、公園になって、地下を阪神高速道路が通っています。」

たけるさんたちは、伝法の公園をしらべることにしました。

3 伝法の公園をしらべよう

ゆりえさんたちは、地図を見て、校区にある公園をさがしました。そして、公園のなまえや気づいたことをノートに書き、発表しました。



つぎに、ゆりえさんたちは、公園の使い方について話し合いました。

「公園は楽しいけれど、ごみや、らくがきがあると、いやな気もちになります。」

「公園は、小学生だけでなく、小さな子どもや、大人の人たちも使っています。」

「きけんな遊びや、人にめいわくな遊びをせず、たいせつに使います。」



4 まちのお店をしらべよう

ゆうきたちは、社会科の学習で、買い物について話し合いました。

ゆりえ 「わたしの家は、千鳥橋団地の近くの『ダイエー』というお店でよく買い物をします。このお店は、スーパーマーケットです。」

かおる 「わたしは、いつも伝法団地の近くのスーパー『ライフ』で買い物をします。」

たける 「伝法には、2つのスーパーマーケットがあるようですね。」

りょう 「伝法の校区外だけど、おうちの人といっしょに高見の『イオン』や、千鳥橋の『マックスバリュ』に行くこともあります。」

ももか 「ちょっとした買い物は、コンビニエンスストアで買うこともあります。」

しゅう 「むかしは、スーパーはなく、みんな商店がいで買い物をしていましたそうです。」

なな 「橋をわたれば、森巣橋すじ商店がいがあります。おうちの人と、四貫島の商店がいや、春日出の商店がいに行くこともあります。」

ゆうき 「商店がいは、いろいろなお店があつまっていて、たのしいね。」

ゆうきたちは、社会科の学習で、じっさいにお店を見学して、お店の人のくふうやどりよくについてしらべることにしました。





伝法幼稚園

5 まちのしせつについてしらべよう

しゅうさんたちは、伝法にすむ人たちのやくに
たつしせつについて、しらべることにしました。



『伝法幼稚園』があります。むかしは伝法小学校のな
かにあったそうです。

「わたしは『無憂園』にかよっていました。ほかには
どこがあるのかな。」

「わたしは『勢至学園』でした。ももかさんは、『れん
げ保育園』でした。」

「たいせつなしせつでは、『交番』が国道43号線の交
さ点にあります。おまわりさんが、わたしたちのくら
しの安全を守ってくれています。」

「『ゆうびん局』もあります。学校の近くに伝法ゆうび
ん局があります。千鳥橋住宅の近くには、高見ゆうび
ん局もあります。銀行はありません。」

「『コミュニティ集会所』と『老人いこいの家』が伝法
幼稚園のとなりにあります。」

「まちの人たちが話し合いをするところですね。此花
中学校の前にもあります。」

「国や大阪府や大阪市がみんなのために税金で作った
しせつを、『公共しせつ』といいます。小学校や公園、
警察、信号機、図書館などは公共しせつです。」

しゅうさんたちは、伝法のしせつを見学することにしました。

伝法交番



此花伝法郵便局



伝法駅のかいさつのようす



伝法駅プラットホーム

6 伝法駅についてしらべよう

たけるさんのグループは、学校のとなりの阪神電車の伝法駅をしらべました。

伝法駅には、近鉄電車も走っています。

たけるさんたちは、駅員さんに、駅のしくみや、お仕事についてたずねました。

たける 「伝法駅は、1日に何人くらいのお客さんが使っていますか。」

駅員さん 「1日あたりおよそ7400人（令和3年度）のお客様が利用されます。朝の8時ごろと夕方の6時ごろが、とくにたくさんのお客様が乗り降ります。」

ゆりえ 「どんなお仕事をされているのですか。」

駅員さん 「きっぷのはんぱい機や、自動かいさつ機のせいびなどをしています。目や体の不自由なお客さまをホームまであんないしたり、困っているお客さまに声をかけたり、トイレや駅の前をきれいにしたりしています。」

みさお 「どのようなことに気をつけていますか。」

駅員さん 「まずお客様の安全です。だれもが安心して使え、事故のない安全な駅をめざしています。」

ももか 「駅の西がわは、今、何の工事をしているのですか。」

駅員さん 「線路のつけかえ工事です。淀川の鉄橋を新しく作り、線路の高架を高くします。駅も新しくなります。令和14(2032)年の完成をめざしています。」

たける 「伝法駅は、いつできたのですか。」

駅員さん 「およそ100年前の大正13(1924)年です。それから40年間は、この路線のことを行なっておりました。」

たける 「伝法駅は、たいせつな駅だったのですね。」

伝法駅からは、西九条や難波のほか、神戸や、奈良に行くことができます。たけるさんは、駅のことがわかり、ますます伝法駅のことがすきになりました。

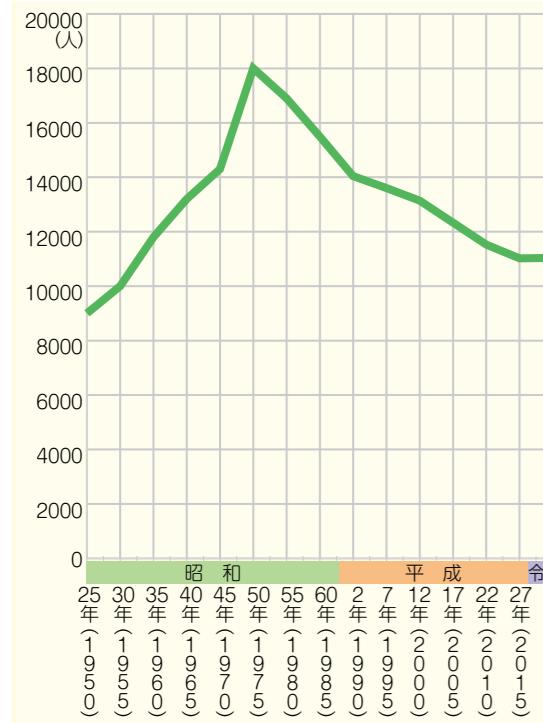
7 伝法の人口についてしらべよう

まちに住んでいる人の数を「人口」といいます。ななさんたちは、伝法の人口についてしらべました。

伝法の世帯数と人口
(住民基本台帳 2022年3月調べ)

町丁目	世帯数	人口
伝法1丁目	1476	2220人
伝法2丁目	744	1450人
伝法3丁目	814	1817人
伝法4丁目	367	717人
伝法5丁目	951	1668人
伝法6丁目	1933	3164人
合計	6285	11036人

伝法の人口のうつりかわり
(国勢調査・住民基本台帳調べ)



ななさんたちは、伝法がすてきなまちになるように、さらに伝法のまちについてしらべたり、考えたりしたいと思いました。



「左の表のいちばん下のだんを見てください。令和4(2022)年3月の伝法の人口は、11036人だということがわかります。」



「1万人いじょうの人が住んでいるなんて、知らなかったです。」



「わたしの住む伝法6丁目が、3164人で人口がいちばん多いです。」



「6丁目は広くて、伝法団地やマンションが多くあるからだと思います。」



「下のグラフは、人口のうつりかわりがわかります。」



「人口が一番多かったのは、1975年です。18000人くらいます。」



「1971年に伝法団地、1972年に千鳥橋団地ができたことと関係がありそうです。」



「でも、そのあとは、人口が少しずつへっています。」



「どうしてへっているのかな。」



「ほかの地域にひっこしたりして、わかい人がへってきたと聞きました。」



「伝法が、たくさん的人が住みたくなるよう、すてきなまちにしていきたいですね。」



↑「みんなで歩こう! 此花おもしろトレイルルート」

- ①ユニバーサル・シティウォーク
このはなこんじくもののがたり
おおかろまん
- ②此花今昔物語・大阪浪漫
うぶすなじんじゃ
- ③産土神社
ていぼう
- ④スーパー堤防
でんぱすいもん
- ⑤伝法水門
でんぱうがわあと
- ⑥伝法川跡
じょうれんじ
- ⑦正連寺
こうしんじどう
- ⑧庚申堂
ごうしんどう
- ⑨伝法山 西念寺
でんぱうさんさいねんじ
- ⑩日本錆鋼所 (伝法小学校内)
みわくいくすみよしじんじや
- ⑪澤標住吉神社
さわめいじゅよじんじゃ
- ⑫旧鴻池本店・旧鴻池本宅
かわせみや
- ⑬鴉宮
もりすばし
- ⑭森巣橋
しらすないたいじん
- ⑮白砂大神
しろすだいじん
- ⑯西九条公園
あじがわすいどう
- ⑰安治川隧道
あじがわずいどう

8 伝法の歴史さんぽをしよう

たけるさんたちは、伝法のすてきな場所を見つけて、くわしくしらべることにしました。まず、たけるさんたちは、伝法小学校の正門のまえの地図を見て、話し合いました。

ゆりえ 「『此花おもしろトレイルルート』って書いてあります。」

かおる 「此花区役所の人が作った地図です。」

なな 「①から⑯までの場所を歩くそうです。おもしろそうだね。」

みさお 「わたしたちが知っている場所も多いね。伝法小学校ものっているよ。」

ももか 「此花区の⑯この場所のうち、なんと⑤から⑯までの10こが伝法だよ。」

しゅう 「半分いじょうは、伝法にあるんだね。」

ゆうき 「伝法は、歴史のある場所がたくさんあるからだと思います。」



たけるさんたちは、伝法にあるおもしろトレイルルートを歩いてみることにしました。



伝法水門



伝法の港のようす

9 伝法水門 おもしろトレイルルート⑤



「わたしの家から歩いてすぐのところに、伝法漁港と、伝法水門があります。市内で数少ない漁港の一つです。わたしは『伝法元気港まつり』が好きです。」

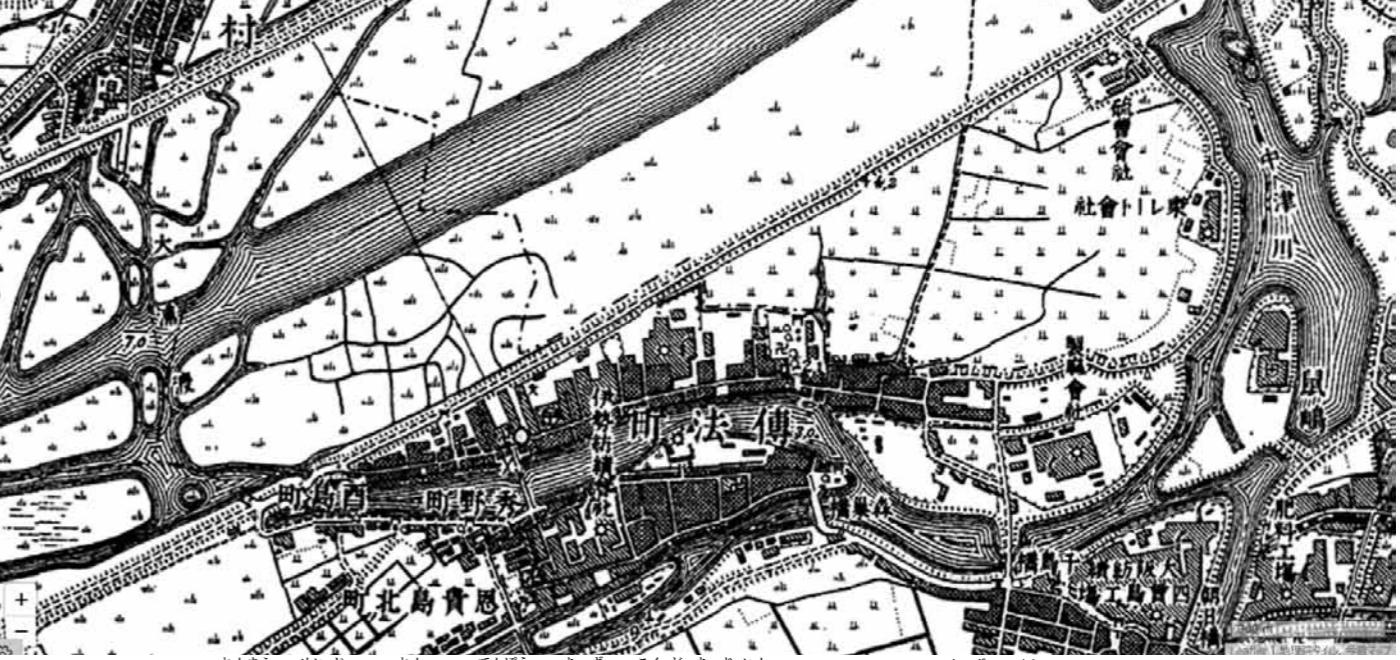
「伝法水門は、どのようなはたらきがあるのかな。」

ももかさんたちは、伝法水門について、区役所や図書館のしりょうでしらべました。むかしの淀川は、川はばがせまく、曲がりくねって、いくつもの川にえだ分かれしていました。そのため、こう水や高潮の水害が多く、伝法小学校ができて12年目の明治18(1885)年の大こう水では、大阪は大きなひがいをうけました。

そこで、オランダ人技師のデ・レーケや沖野忠雄らが中心となり、新しい淀川を作ることとなりました。およそ13年かけて、ていぼうを作り、まっすぐな川をほりました。明治43(1910)年、今の淀川が完成しました。田畠や村が川底になり、ひっこしをしなければならなくなったりもいましたが、こう水のひがいは少なくなりました。今の伝法水門のところに、新淀川と伝法川を行き来する船のために、伝法こう門ができました。

しかし、此花区では工場で使う地下水をたくさんすい上げたため、地盤沈下がはげしくなり、伝法の土地は、海や川よりも低くなってしましました。そこで、高潮のたいさくとして、昭和28(1953)年、こう門の近くの漁港だけを残し、伝法川をうめたました。

さらに、昭和39(1964)年、こう門にかわり、伝法水門を作りました。大雨や高潮のときには、水門を閉め、伝法のまちを水害から守るはたらきをします。



↑およそ110年前(明治44年)の伝法の地図(国土地理院) 31ページの地図と比べてみよう。
新淀川ができる前の中津川(右上)は切れています。「千鳥橋」「森巣橋」「傳法町」と書かれているところの川が伝法川です。イカリソース跡地のあたりに伝法尋常小学校の「文」の記号が見えます。学校はこの後やや東の日本鋳鋼所跡(地図の真ん中あたりの工場の記号「△」)に移転します。

10 伝法川あと おもしろトレイルルート⑥



「伝法川あとと書かれた石碑がありますね。」

「むかし、正門(赤門)の前を流れていて、各地から船が集まりにぎわっていたそうです。」



ももかさんたちは、伝法川についてしらべることにしました。伝法川は、中津川(毛馬で淀川から分かれて流れていた川)から六軒家川や正運寺川とえだ分かれして、伝法のまちを流れ、大阪わんにそいでいました。

江戸時代の中ごろ(今から300年ほど前)までは、伝法川の河口は「伝法口」といわれ、大阪・京都・尼崎や伊丹と、全国とを結ぶ港としてたいへん栄えました。「伝法船」という船で、伊丹などの酒だるを江戸(今の東京)へ運びました。伝法にも造り酒屋がありました。醤油や酢・みりん・塗り物・紙・木綿・かなもの・畳表なども運びました。伝法船は、積み出しが速く「小早」ともよばれ、のちに「樽廻船」という貨物船になりました。

河村瑞賢が、安治川を掘った1684年ころから、伝法川を行き来する船は減りました。明治43(1910)年に新淀川ができ、伝法川は新淀川に合流する川となりました。高潮になると、海の水が伝法川をさかのぼり、大きなひがいが出るため、昭和28(1953)年には森巣橋から西へ900mほどがうめたてられ、今の伝法漁港だけが残りました。



↑伝法川跡の石碑
伝法漁港前(上)と鴨宮前(下)



↑正運寺本堂



↑尼崎街道の道しるべ

11 正運寺 おもしろトレイルルート⑦

かおるさんは、正運寺について調べました。

正運寺は、寛永2(1625)年に、甲賀谷又左工門(正蓮日宝禪定門)という人が、小さな庵を建てたのがはじまりといわれています。大阪25カ寺に数えられています。

重なる火災や地震の災害にあい、今ある本堂は明治7(1874)年のものです。
毎年8月26日に行われる「川施餓鬼」は享保6(1721)年からはじまった行事で、日本三大施餓鬼の一つとして江戸時代から有名だそうです。川施餓鬼は、亡くなった人の供養を船にのって川でおこなうお寺の行事です。

正運寺のお寺の門の前には、旧尼崎街道の道しるべが残っています。

※庵…草ぶきの小さな家

「伝法口」といわれていたころ

前ページの「伝法口」について、江戸時代、大阪は、伝法川口と、木津川口の2つの港に、全国から米や魚や酒などの荷物が運ばれました。やがて安治川口がその中心となりましたが、それまで伝法は、全国でも有名な貨物ターミナルでした。右の図のような船がたくさん伝法のまちに泊まっていたのでしょう。「樽廻船」のもとは、「伝法船」だったそうです。



↑庚申堂のお堂の上部の彫刻
さるがももを持っています。

12 庚申堂 おもしろトレイルルート⑧

しゅうさんたちは、しゅうさんの家の近所にある「庚申堂」について、区役所のしりょうでしらべました。

区役所のしりょうには、つぎのように書かれています。

国家安泰、五穀豊穣を祈願して申村神社を創建。境内には、住吉社・愛宕社・庚申社の三社をまつっていました。しかし、明治10(1877)年、愛宕社は本宮鴉宮に、明治42(1909)年住吉社は澪標住吉神社に合祀され、地元の強い希望で「庚申社」は「庚申堂」と改称されて残りました。申(さる)を施した彫刻の飾りがあることから、申神社とも呼ばれています。



「桃をかじるおさるの彫刻があります。何なくかわいくておもしろいです。」



「『庚申堂』の『庚申』は『かのえ・さる』とも読み、青面金剛という鬼のような神(仏)様をまつっているそうです。」



「このあたりは、明治時代のはじめまで『申村』という村だったそうです。淀川の工事で、村の土地の多くは、淀川の底になってしまったそうです。」



「彫刻も、お堂のなまえも、村のなまえも、『さる』に関係がありそうですね。むかしの伝法・申村の人たちの思いがつまっている気がします。」

※國家安泰…国がおちついでやすらかなこと。

※五穀豊穣…お米などの作物がゆたかにみのこと。五穀とは、米、麦、粟、豆、黍または稗をさすことが多い。

※庚申…干支の一つ。



↑西念寺 左の石碑には、「大坂道」「備前橋」、右の石碑には、「伝法小学校（旧西念寺寺子屋）開校の地」と書かれています。

13 伝法山西念寺 おもしろトレイルルート⑨

ももかさんと、しゅうさんは、西念寺について調べました。

西念寺について、区役所のしりょうには、つぎのように書いてありました。

大化元(645)年天竺南山道宥律師の教伝により、法道仙人が仏法伝導道場を建立されたのがはじまりという。中世には摂津伝法の船寺として信仰を集め、広大な寺領を持ち、摂・河・泉、三国の四大本山の一つとして栄えたという。明治6年には小学校（現伝法小学校）が当寺に設置されていた。

「お寺の古い書物には、大化元(645)年、日本に仏教を広めるためにインドから来た法道仙人というお坊さんが、西念寺を建てたとあるそうです。」「1300年いじょうの長い歴史のあるお寺ということですね。」「平安時代の大同元(806)年には、有名な空海（弘法大師）が道場を作ったといわれています。延喜元(901)年には、菅原道真が九州の大宰府へ行くとちょうどこの西念寺をおとずれたといわれています。」「明治6年に伝法小学校が西念寺ではじまったのは、なぜでしょうか。」「江戸時代、西念寺には寺子屋があり、伝法に住む子どもや大人が、本を読んだり書いたりして学びました。明治時代になり、学校を作るきまりができたとき、伝法地域のみなさんが、ここに学校を作ってほしいとなったのだと思います。むかし、西念寺のふきんが北伝法の中心地で、備前橋という有名な橋や大坂道（尼崎街道）が通り、役所や警察署などもありました。



↑正門（赤門）の近くに立つ石碑

14 日本鑄鋼所あと おもしろトレイルルート⑩

伝法小学校の正門（赤門）には、日本鑄鋼所（現住友金属）の発祥の地という石碑が残っています。石碑とは、古い建物や、できごとや、かつやくした人などのことを、未来の人につたえるために、石になまえや文章などをきざんでたてているものです。

たけるさんたちは、赤門前の石碑について話し合いました。

みさお 「『日本鑄鋼所』は、明治32(1899)年に建設された我が国初の本格的な製鉄所で、翌年4月に初湯された」と書かれています。
たける 「国が九州に『八幡製鉄所』をたてる2年前に、この場所に、本格的な鉄を作る工場を、日本ではじめて作っていたのです。」「鐵の原料や、できた製品を船で運ぶため、淀川の近くに建てたと思います。」「でも、赤字のため、8年後に住友家が工場を買いとり、工場は島屋にうつりました。今も、島屋には住友金属の工場などがたくさんあります。」「そして、広い工場のあと地に、わたしたちの伝法小学校がひっこしてきたのです。大正12(1923)年10月のことだそうです。」「日本初の鉄を作る工場だったなんて、ふしぎな感じがするね。」



↑当時の日本鑄鋼所の工場



↑(上) 鳥居の横の瀬標
↓(下) むかしの瀬標の写真

15 濬標住吉神社 おもしろトレイルルート⑪

たけるさんたちは、瀬標住吉神社について、区役所のしょうかい文を読みました。

延暦23(804)年、遣唐使の航路安全を祈願してほこらを造り、一行の帰路を迎えるため瀬標を立てたのがはじまり。のちに、土地の守護神・海上交通安全の神として社殿境内に整えられました。昔は水路のしるしていたところに立ててあった瀬標は、大阪市の市章のデザインともなっています。桜や新緑の季節は、美しくすがすがしい社です。

「伝法には、ここと鴉宮の2つの神社があります。どちらも夏祭りには、ふとん太鼓や獅子舞などができます。太鼓や笛や踊りもかっこいいです。」

「住吉神社は、全国にあります。海の安全を守るとされているそうです。」

「むかし伝法口といわれた重要な港だったことと関係があると思います。」
「大阪市のマーク(市章)は、船の道しるべだった瀬標のデザインなのですね。」

「『伝法の港はこちらですよ。』って、大阪わんから伝法川に入ってくる船の人に教えるために、瀬標が立っていたのだと思います。」



↑鴻池本店の建物。左に木造の日本宅が見える。



↑玄関とマルキタの社章

16 鴻池本店・旧本宅 おもしろトレイルルート⑫

ゆうきさんたちは、鴻池本店・旧本宅を見学しました。

ゆうき 「明治43(1910)年に建てられた木造洋館です。アールヌーボー様式という建て方だそうです。古いようで新しいようで、かっこいいね。」

みさお 「窓をよく見ると、当時はめずらしかったカラフルなステンドグラスです。」

ゆうき 「となりの木造のおうちも同じく明治43年に建てされました。どちらも、令和4年4月に国の登録有形文化財に指定されたんだよ。すごいね。」

みさお 「玄関に会社のマーク(社章)があります。『北』という字にています。」

たける 「鴻池組は、伝法小学校ができる1年前の明治4(1871)年に、同じ北伝法村で土木・建築工事を中心にスタートした会社だそうです。」

みさお 「マークは、北伝法の『北』をデザインした『マルキタ』なのですね。」
たける 「鴻池組は、淀川改良工事や、伝法の近くの川や橋の工事を請け負ってきました。伝法の地域とも強いつながりがあります。」

ゆうき 「有名な会社が、伝法とつながっているのはうれしいですね。こんどは建物の中も見学してみたいです。」



からすのみや
鴉宮



伝法の夏祭り（獅子舞とふとん太鼓）

17 鴉宮 おもしろトレイルルート⑬

ゆりえさんたちは、鴉宮について、区役所のしりょうを読みました。

此花区に残る最も古い伝記として、順徳天皇の建保3(1215)年4月、村と港の繁栄を祈念し、伝法村の中心に傳母頭神社として鎮座されたのがはじまり。文禄元(1592)年、豊臣秀吉が出兵の際、瀬戸内より日本海への安全を祈願したところ、神告どおり海路平安、また三本足の靈鳥「八咫烏」が軍船の前後を飛んで船を守ったと言われています。これに感激した秀吉が、帰国後、神社名を「鴉宮」と改め、現在地に遷宮したと伝えられています。

- ゆりえ 「鴉宮も、夏祭りは、獅子舞やふとん太鼓があります。」
- りょう 「鴉宮はもともとは傳母頭神社だったのですね。1215年は鎌倉時代です。800年以上まえから、伝法は港まちだったのですね。」
- なな 「豊臣秀吉は、戦国時代に全国を統一して、大阪城を作った武将です。」
- たける 「豊臣秀吉が、1592年に伝法で安全な航海を祈ったなんてすごい。伝法は、大阪や京都と、瀬戸内海や日本海をむすぶ大切な港だったのですね。」
- ゆりえ 「『やたがらす』は、日本の神話に出てくる鳥で、よいところへ道案内してくれれる神様だそうです。足が3本あるともいわれています。サッカーの日本代表のシンボルマークになっています。」
- たける 「本殿や中門などは国の登録有形文化財になっています。伝法の歴史や伝統のつまったお宮なのですね。」



森巣橋（北西詰）



森巣橋（北東詰）

18 森巣橋 おもしろトレイルルート⑭

ゆりえさんたちは、森巣橋にある「此花おもしろトレイルルート」の説明を読んで話し合いました。

ゆりえ 「森巣橋は、文久3(1863)年にかけられた、と書かれてあります。」

りょう 「江戸時代のおわりころですね。鴉宮のもともとの名である傳母頭神社の『もりす』の名をつけたそうです。」

なな 「豊臣秀吉が、『八咫烏』にちなんで、傳母頭神社を『鴉宮』とあらためたのでしたね。」

たける 「木々がぎっしりと茂っていて、からすの巣のような形をしていたので、

鴉宮をこの場所にうつしたと伝えられている、と書いてあります。」

りょう 「鴉宮の近くに、この橋をかけて、言い伝えを守ろうとしたんだって。」

ゆりえ 「伝法川や正運寺川はうめたてられたけれど、正運寺川にかかっていた森巣橋は、鴉宮といっしょに、これからも残していきたいですね。」

たける 「『此花おもしろトレイルルート』のうち、伝法にある10この場所を歩いてみて、とても楽しくて勉強になりました。これからも、伝法のまちのすばらしいところやおもしろいところをしらべていきたいです。」



大正8年ころの森巣橋
(ふとん太鼓のお渡り。橋にはガス灯が見える。)